

遺伝診療センター

1. スタッフ



センター長 なかにし きみとし
中村 公俊
(兼任/小児科教授)

副センター長 おおば たかし
大場 隆
(兼任/産科・婦人科准教授)

特任講師 さわだ たかあき
澤田 貴彰 (専任)

助教 ささき るみ
佐々木 瑠美
(兼任/産科・婦人科助教)

認定遺伝カウンセラー あべ さきこ
安部 東子

2. 遺伝診療センターの特徴

医療におけるさまざまな分野で、個人の遺伝情報に基づく診療(遺伝診療)が実践されている。遺伝診療によって、より正確で効率的な医療が可能となるが、患者・家族への心理的サポートや倫理的検討が必要となる場合も多い。こうした中で、専門的かつ診療科横断的な支援が求められるようになった。

当センターは、適切で高度な遺伝診療を提供するため、2023年12月に、前身となる遺伝カウンセリングチームから改組し、設置された。

【業務領域】

(1) 遺伝カウンセリング

疾患の遺伝や遺伝学的検査に関して相談希望のある方に対して、臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーが、遺伝や疾患についての正しい情報提供を行い、理解や意志決定を支援している。また、必要な症例においては、月に1回開催される症例検討カンファレンスにおいて、各診療科の医師や看護師等とともに、遺伝学的検査に関する検討や倫理的事項の検討を行っている。

(2) がんゲノムプロファイリング検査(CGP)における Germline Findings への対応

CGP で検出されたバリエーション(遺伝子変異)の中から、遺伝性腫瘍に関するものを抽出し、対象の患者・家族へ、情報提供・支援を行っている。

(3) 熊本県内・外における遺伝医療連携

当センターは、熊本県内唯一の遺伝診療部門であり、院外からの遺伝カウンセリング・遺伝学的検査目的の紹介も受けている。特に遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)の遺伝学的検査においては、令和7年3月時点で県内外の24施設と連携体制をとっており、地域医療機関への遺伝診療支援を行っている。

当院で遺伝性疾患と診断された患者の血縁者への遺伝診療を目的として、県外施設の遺伝医療部門と連携する場合もある。

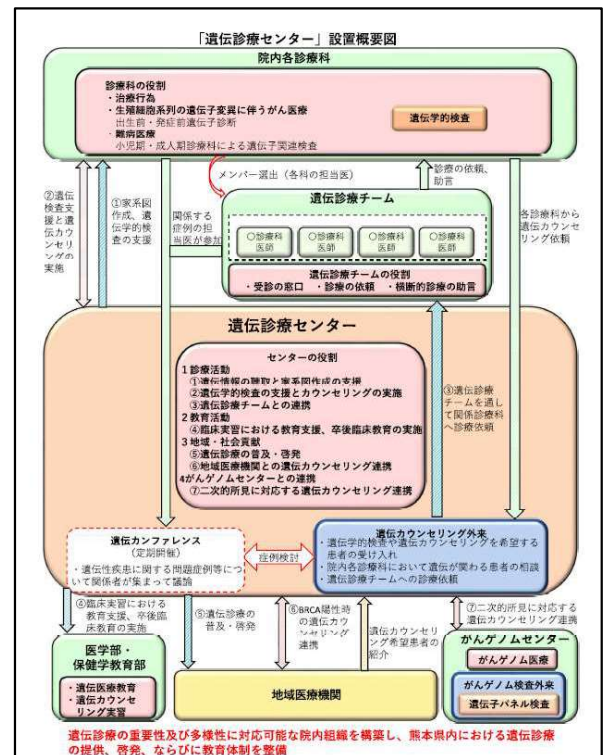
(4) 遺伝医療専門職育成・教育

本院は、臨床遺伝専門医制度・研修施設に認定されている。その中で幅広い領域に携わる専門医、指導医

の指導のもと、希望者が患者の遺伝カウンセリングに同席している。院内の医師のみではなく、他院の医師を研修登録医として受け入れており、臨床遺伝専門医資格取得を積極的に支援している。また、認定遺伝カウンセラーを目指す、熊本大学保健学教育部の大学院生の実習指導も行っている。

3. 体制

遺伝診療センターの医師、認定遺伝カウンセラーの他、各診療科より推薦された遺伝子診療に経験の深い医師等による遺伝診療チームを構成している。遺伝診療チームを設置することで、院外からの患者受け入れを含め、各診療科への診療の打診をスムーズに行うことができ、遺伝診療提供体制の整備に繋がっている。



4. 活動実績

令和6年度 遺伝診療センターにおける遺伝カウンセリング症例数

